

# 常葉だより

(学)常葉大学 法人本部  
 常葉大学・大学院  
 常葉大学短期大学部  
 常葉大学附属常葉高等学校・中学校  
 常葉大学附属橘高等学校・中学校  
 常葉大学附属菊川高等学校・中学校  
 常葉大学教育学部附属橘小学校  
 常葉大学短期大学部附属とちは幼稚園  
 常葉大学短期大学部附属たちばな幼稚園  
 常葉リハビリテーション病院

第227号



運動会にて  
 3年生の集団演技「橘☆かつぼれ乱舞」



## 教育学部附属小学校 としての使命

常葉大学教育学部附属橘小学校 校長  
 永田 研

「素晴らしい小学校ですね」「生き生きとして、発表内容も良いですね」はじめて訪れた人達が異口同音に述べる感想です。ところが、残念なことにはこの良さは余り知られていないのです。そこで、この場を借りて、紹介をさせていただきます。

本校も学校法人内の諸校と同様の建学の精神を基に、教育目標を設定し、同時に教育学部附属小学校としての使命を果たすために特色ある教育を推進しています。まず、第一は一学級20人の少人数編成による、一人一人を大切にしたいきめ細かな授業実践です。これは使命として掲げている「教育学部と共同で先進的教育、授業の実証研究を行う」や「研究の成果を発信し地域のモデル校として日本の教育の質的向上に寄与する」の具現を図った姿と言えます。今は教育学部と共同で次期学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」をどう実現するかを追究しています。本年度は1月27日に研究の成果を内外に問う「研究発表会」を開催し、児童の表れを通して授業論を深めていきます。次は、低中学年で週2、高中学年で週3時間行う英語教育です。ネイティブと専門性の高い英語専任教師とのチームティーチングで、聞く力、話す力の育成を中心に成果を上げていきます。次期学習指導要領で高学年に「外国語」が設けられたこともあり、先駆的な授業は注目の存在です。さらに、創立初期から継続・発展し全国的にも唯一の授業として行う「オーケストラ学習」です。1年時にバイオリン・チェロなど弦楽器からはじめ、3年時から管楽器、打楽器が加わります。各楽器の専任教師が個別指導をし、12月の発表会では各学年で合奏を行いファイナルには6年のオーケストラに合わせての全員合唱があります。まだまだ多くの特色があるのですが、紙幅が尽きたのでこれくらいにします。教育学部も草薙に移転をして少し遠くにはなりますが教育学部附属として結びつきを強固なものにして学校法人の中核としてますます発展をしていきたいと思っています。

「素晴らしい小学校ですね」「生き生きとして、発表内容も良いですね」はじめて訪れた人達が異口同音に述べる感想です。ところが、残念なことにはこの良さは余り知られていないのです。そこで、この場を借りて、紹介をさせていただきます。

本校も学校法人内の諸校と同様の建学の精神を基に、教育目標を設定し、同時に教育学部附属小学校としての使命を果たすために特色ある教育を推進しています。まず、第一は一学級20人の少人数編成による、一人一人を大切にしたいきめ細かな授業実践です。これは使命として掲げている「教育学部と共同で先進的教育、授業の実証研究を行う」や「研究の成果を発信し地域のモデル校として日本の教育の質的向上に寄与する」の具現を図った姿と言えます。今は教育学部と共同で次期学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」をどう実現するかを追究しています。本年度は1月27日に研究の成果を内外に問う「研究発表会」を開催し、児童の表れを通して授業論を深めていきます。次は、低中学年で週2、高中学年で週3時間行う英語教育です。ネイティブと専門性の高い英語専任教師とのチームティーチングで、聞く力、話す力の育成を中心に成果を上げていきます。次期学習指導要領で高学年に「外国語」が設けられたこともあり、先駆的な授業は注目の存在です。さらに、創立初期から継続・発展し全国的にも唯一の授業として行う「オーケストラ学習」です。1年時にバイオリン・チェロなど弦楽器からはじめ、3年時から管楽器、打楽器が加わります。各楽器の専任教師が個別指導をし、12月の発表会では各学年で合奏を行いファイナルには6年のオーケストラに合わせての全員合唱があります。まだまだ多くの特色があるのですが、紙幅が尽きたのでこれくらいにします。教育学部も草薙に移転をして少し遠くにはなりますが教育学部附属として結びつきを強固なものにして学校法人の中核としてますます発展をしていきたいと思っています。

# 躍動する大学

常葉大  
静岡

文部科学省「小学校英語教科化に向けた  
専門性向上のための講習の開発・実施事業」  
〔中学校英語二種免取得の委託を受けました〕

本事業では、常葉大学と静岡県教育委員会がチームを  
組み、小学校で英語教育を高い専門性をもって指導できる  
現職教員を育てるために、「免許法定講習（中二種免・  
英語）」を開発し、平成29年度から実施しています。「小  
学校で英語教育を行う教員の養成」に特化した実施内容  
を組んでおり、静岡県下では初めての試みです。

また、県教委と静岡県総合教育センターが連携し、新  
学習指導要領に即した新たな指導方法の在り方等について  
検討を重ねながら、平成31年度から実施する「研修プロ  
グラム」を開発し、小学校の現職教員を英語の専科指導  
者として養成する予定です。

県下には500を超える小学校、11,000名を超え  
る小学校教員があり、地区の英語教育を推進する中核教  
員の養成が急務です。



柴田先生による講習

常葉大  
静岡

がん患者支援  
チャリティイベント  
に参加！／看護学科

常葉大学静岡キャンパス水落校舎のボランティ  
アサークル「UNIT-E（ユナイト）」は、9月10  
日、11日の2日間に行われ、がん患者支援チャリ  
ティイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン  
2017静岡」にチームとして参加しました。「が  
ん患者は24時間がんと闘っている」というメッ  
セージを背景に、がん患者や家族、その支援者が  
会場をリレー方式で24時間歩き続けます。常葉  
大学としては、健康科学部看護学科の学生が中  
心となり、4年連続で参加しています。今年度も  
会場設営などの当日ボランティアに積極的に参  
加しました。



常葉大  
富士

政治評論家・森田実氏による  
講演会を開催

政治学講義の一環として、政治評論家・森田実氏をお招  
きし、講演を行っていただきました。「日本の政治の現状」  
と題された講演では、日本の政治の根本的な問題や、現在  
マスコミ等で取り上げられている話題について、熱くお話をさ  
れました。出席した約200名の学生たちは、真剣な表情で  
話に耳を傾け、講演終了後には「今までお会いした戦後の  
首相の中で番優れた総理大臣は  
どなたですか」、「安倍内閣が立  
ち直ることができるのならど  
んな方策がありますか」など、積  
極的な質問が出ていました。授  
業を担当する稲葉光彦教授は、  
「あらゆる角度からのお話をいた  
だき、学生も日本の政治に対す  
る興味や理解が深まったのでは  
」と期待を示していました。



常葉大  
浜松

サッカー部  
総理大臣杯全日本大学  
サッカートーナメント  
ベスト8

3年連続8回目の出場を果  
たした「第41回総理大臣杯全  
日本大学サッカートーナメント」  
1回戦では、北海道教育大学  
岩見沢校に延長戦の末、2-  
1で勝利。2回戦は神奈川大  
学と戦い、後半12分に決めた1  
点を守りきり、1-0で勝利  
しました。3回戦は昨年優勝  
校の明治大学と対戦。0-0  
の接戦が続いた試合後半42分、  
均衡を破ったのは相手チームで  
した。ゴール前からのグラウン  
ドパスを受けた相手選手にゴール  
を決められ、0-1で惜敗、ベ  
スト8となりました。



常葉大  
浜松

全日本  
学生エアロビック選手権大会で  
3個のメダル獲得

8月26日、「第17  
回全日本学生エアロ  
ビック選手権大会  
が開催され、本学工  
アロビック部が学生  
女子シングル部門、  
学生女子フライング部  
門の2部門で優勝。  
エアロビック・ダン  
ス部門で3位とな  
り、3部門で表彰さ  
れました。



大葉常葉  
富士カサバ

### 津波避難行動計画検討 ワークショップに参加

社会環境学部

沼津市戸田で開催された津波避難行動計画検討ワークショップ（沼津市・静岡県沼津土木事務所企画）に大学院環境防災研究科の池田浩敬教授と阿部郁男教授、大学院生・社会環境学部の学生が参加しました。このワークショップは、津波災害のリスクに対する理解を深め、あらかじめその対処方法を地域ぐるみで考えることで、これからは安全で安心して暮らし続けることができる地域づくりを進めることを目的としています。前半の講演では、津波・避難の2つのシミュレーション結果が具体的に示され、後半のワークショップでは、個人的にできる対策から近所同士の声がけなどの地域での取り組み、さらにソーラーパネル式の街灯の設置や防潮堤のかさ上げなどの公的支援が必要な対策まで、非常に多くの意見が発表されました。



大葉常葉  
富士カサバ

### 松崎町棚田で草刈り & 大地曳網祭りの運営を行いました

社会環境学部

社会環境学部の学生が、地域連携事業の一環として、2日間に渡り松崎町石部棚田の草刈りと大地曳網祭りの運営を行いました。学生たちはバーベキューやゲームを担当し、地域の方々と一緒に運営スタッフとしてお祭りを大いに盛り上げました。お祭りと同時に開催された「青空マルシェ」では、学生と地域住民が共同で地場産品を販売しました。また浜辺カフエいづかく亭では、石部で採れた天草を使用し手作りしたブドウゼリーとコーヒーを販売し、訪れた方々から大好評を博しました。学生たちは年間を通して農業体験を行い、棚田農業ならではの伝統的な知恵と技を学びながら、地域の方々とともに、さまざまな地域おこしに取り組んでいきます。



大葉常葉  
静岡カサバ

### 第2回 静岡理学療法学科 卒業研究発表会 開催!

8月8日（火）水落校舎においてポスター展示及び口述発表による卒業研究発表会が開催され、11のゼミごとに発表及び質疑応答を行いました。大学での学びの集大成として3年後期から4年前期まで1年かけ取り組んできた卒業研究は、各研究室の特性や専門性を発揮した内容となりました。特に今年度は口述発表を取り入れた事で、研究活動に加え発表や質疑などに向けた準備も重ね、それらスキルを含め昨年以上の成果がありました。この卒業研究の経験を活かし、臨床活動の中で真実を探求する思考と行動力を持つていたきたいと考えます。



大葉常葉  
静岡カサバ

### 「モノづくり」の現場で学ぶ

静岡キャンパスキャリアサポートセンターでは、就職活動を控えた3年生希望者を対象に、仕事の流れや会社の仕組みの理解を深めることを目的とした、「企業研究見学会」を毎年開催しております。本年は9月7日（木）に瀬名校舎の学生10名が「㈱ホテイワーズコーポレーション」「イテシギョー㈱」の2社へ、12日（火）には水落校舎の学生14名が「㈱ソニDADCジャパン」「伊藤園産業㈱」の2社を訪問し、製造工程を見学させていただきました。

あらゆる仕事の原点とも言える「モノづくり」の現場見学を通して、製品が消費者の手に届くまでに多くの人や物、仕事関わっていることを学び、参加した学生は多くの気づきや驚きを得ることが出来ました。

学生一人ひとりがより幅広い視野を持ち、各自の希望や適性に合った進路選択が出来るよう、キャリアサポートセンターではこのような企画を通してサポートしていきます。



ホテイワーズコーポレーション

伊藤園産業㈱

大葉常葉  
浜松カサバ

### 地元へ新名物を 「あいすみそまん」 試作に学生が協力

浜松キャンパスの経営学部生で構成される地域貢献サークル「Cocoa」は、奥浜名湖商工会が開発を進める「あいすみそまん」の販売促進に協力しました。学生のアイデアで、女性が食べやすい大きさや形、甘さを追求し、歩きながらも気軽に食べられる商品になっています。学生は、販促用ポップのデザインの提案も行い、新名物定着を目指します。



「あいすみそまん」試食会の様子

大葉常葉  
浜松カサバ

### 「防災・減災かるた」で 防災意識向上を

健康プロデュース学部心身マネジメント学科木村ゼミの学生は、児童の防災意識を高めようと、大学近隣の4つの小学校の児童とともに「防災・減災かるた」の作成を始めました。作成に先立ち、被災地でのボランティア経験のある学生が現地の様子や災害時の備えを説明し、児童と災害について考えるための出前授業を実施。今後、地域の特長も盛り込んだ手札を作成します。



常葉大 静岡校

野外教育活動・野外活動実習 (朝霧キャンプ実習)

履修者79名は、9月2日～4日、富士山西麓にある県立朝霧野外活動センターで2泊3日のキャンプを行いました。田貫湖からの2泊分の荷物を背負ってのトレッキング形式のウォークラリー、野外炊事、キャンプファイアーなどのさまざまな活動に加え、一部の履修者はピバーク(露巻)にもチャレンジしました。例年より冷え込む中でこのキャンプでしたが、皆意欲的に取り組み、充実した実習となりました。 今日、子供達の自然体験が不足しており、その体験を得る機会としてのキャンプ等の自然体験活動が必要とされているにもかかわらず、その指導者が依然不足しています。本科目履修者にはその担い手として、将来、学校教育・社会教育等の現場で活躍することが期待されています。



自作かまごによる野外炊事

「野外教育活動」及び「野外活動実習」ともに教育学部2年次開設科目

常葉大 浜松校

大学生が先生に「キッズオープンキャンパス」

7月15日、学生が講座を企画運営する「キッズオープンキャンパス」が開催されました。これは、スポーツ、からだのしくみ、自然体験など、各学科の学びを活かした21講座を開講。1,329名の親子が参加して、夏休みの一日を楽しく学び過ごしました。



骨のパスルに挑戦!!

常葉大 富士校

知的障害者施設における交流会を開催

保育学部

聞し、交流会を行いました。本交流会は、赤塚セミの2年生7名が富士市にある社会福祉法人誠信会富士和光学園を訪ね、交流を行いました。本交流会は、赤塚セミで障害児支援をテーマに学んでいる学生が障害児の理解をより深め、支援方法を実践的に学ぶ機会として昨年度から継続的に行っています。学生の学びの場であると同時に、施設で生活する方々の余暇支援として充実した時間になるよう、保育学部らしい趣向を凝らした企画を心掛け、昔話「花さかじいさん」のパネルシアターや、それにちなんだ制作活動を中心に、体操や歌などを交えながら1時間のプログラムを施設の皆さんと楽しみました。今後とも学生たちは、コミュニケーションを取り、生活を豊かにする支援が行える保育士を目指して、本活動を継続していく予定です。

保育学部・赤塚セミの2年生7名が富士市にある社会福祉法人誠信会富士和光学園を訪ね、交流を行いました。



心れあい を求めて

常葉大 短大部

うらかたさん!! ~みんなでとこたんを盛り上げよう~

本学では今年度から見聞を広め、充実した楽しい短大生活を送るため、学内で四季折々のイベントや日本伝統行事等の企画や実施を学生運営で行っています。課外活動の一つとして、イベントの開催や構内のデコレーション、ポランティア活動などうらかたさんのリーディングで学生の参加を促し、教職員ともども毎日を楽しんでいます。



ドッジボール大会



シトラスガーデンテーブルの絵付け



七夕短冊づくり

菊川高 生徒会

ユニセフへの募金報告

菊川高校の生徒会では、常時活動としてエコキャップ運動を実施しています。学食や各教室にエコキャップ回収箱を設置し呼びかけをしてきました。今回は今までに貯まったものを島田市にある工場へ持っていく、換金しました。エコキャップが19.6kgも集まりました。エコキャップの換金分と、菊陵祭での募金の合計額 15,768円を平成29年8月にユニセフへ寄付しました。今後エコキャップの回収を行っていきます。



橘小

自然と過ごす1日

7月末に親子環境教室が行われました。和田島の自然の中で、様々な生き物や植物に触れました。サポートしたのは、常葉大学社会環境学部の皆さん。子どもも親も目を輝かせていました。 午前は「ビオトープ探検隊」。親子で目の前の池をじっくり見つめました。すると、おなかの真つ赤なアカハライモリが、普段見ることのない生き物に、子どもたちだけでなく保護者の方も興味津々。早速、夕毛を手に池に入りました。ヤモリがたくさん取れ、カエルやヤゴなども見つかり子どもたちは大興奮。顕微鏡を使っての観察も行い、真剣な眼差しで覗き込みました。 楽しく生き物に触れ、真剣な表情で説明を聞き、見るものすべてが新鮮で驚きの表情を浮かべていた子どもたちの姿と子どもと一緒に活動を楽しむ保護者の姿も印象的でした。



菊川高

美・デコ3年生  
国際美術展で名誉会長賞を受賞

菊川高校美術・デザイン科3年生の廣川虎之介君が、第18回高校生国際美術展で「実行委員会 名誉会長賞」を受賞しました。タイトルは「廣川虎之介のアトリエ」。写真にも写っていますが、画家となった虎之介君の後ろ姿と、その広いアトリエに所狭しと並んでいる様々な道具と彼の作品が描かれています。「高校生国際美術展」とは、海外の高校生も参加する、様々な国の作品を展示するイベントです。8月9日の表彰式では他の表彰者と



食事を楽しんだそうで、「自信はあったけれど、まさかこれほどの賞をいただけるとは思いませんでした」と、あくまで謙虚な廣川君でした。

常葉大  
浜松キャンパス

陸上全日本インカレ  
男子200m、小川拓夢選手ベスト8、  
女子4×400mリレー出場



「天皇賜盃 第86回 日本学生陸上競技対校選手権大会」が9月8日～10日、福井運動公園で行われました。男子200mで小川拓夢さん(心身4年)が第8位入賞、女子4×400mリレーでは4年生4名が出場しました。また、6月に行われた「2017日本学生陸上競技個人選手権大会」には、男子200mに小川拓夢さん(心身4年)、男子三段跳に加藤真生さん(心身3年)が出場しました。

菊川高

バドミントン部  
初のインハイで強豪にくらいつく



7月29日～8月3日、山形県で開催された全国高等学校総合体育大会バドミントン競技女子団体戦に静岡県代表として出場しました。初戦で強豪、富山国際大学付属高校と対戦、健闘しましたが、0-3で敗退してしまいました。第一ダブルスで主将の高柳美月、副主将の村田さくらペアが全国ベスト8の強敵ペアにくらいつき、ファイナルゲームまで持ち込むも惜敗。本当に惜しい試合でした。3年生にとっては最後の団体戦となりましたが、初めてのインターハイとは思えないほど堂々と戦い、県大会からの勢いそのままにガッツあふれる試合をしてくれました。目標のベスト16には届きませんでしたが、3年生は主将を中心に素晴らしいまとまりをみせ、良いチームを作ることができました。

常葉大  
短大部

常葉大  
富士キャンパス

常葉大  
静岡キャンパス

草薙校舎への移転準備  
進行中

草薙キャンパスの移転に伴い、常葉大静岡キャンパス瀬名校舎・常葉大富士キャンパス・常葉大短大部3キャンパスでそれぞれ活動しているクラブ・サークルの統合に向けて、各部長の話し合いが8月24日(木)静岡キャンパス瀬名校舎で行われました。

今回は、2月に顔合せを行って以降の2回目の話し合いで議題は①部長・顧問に関して、②富士キャンパス・短大部の荷物移動に関して、③協会・連盟先への連絡に関して、④クラブ・同好会設立申請書、団体部員名簿の提出に関してなどと具体的な活動に向けた話し合いとなりました。



真剣そのもの!!

平成30年4月草薙校舎移転までのあと半年で課題を詰めていかなければなりません。今後の体制づくりに学生たちも真剣に取り組んでいます。

橘高 菊川高

高等学校応援団  
フェスティバルに  
附属高校2校出場

6月25日、静岡市民文化会館で行われた「第6回高等学校応援団フェスティバル in 静岡」に、橘高校と菊川高校の応援団が揃って参加しました。このイベントは県内外の応援団やチャリダーズ部など16団体が出演する大規模なものです。橘高校団長の宣誓で幕を開け、菊川高校応援団が「チャンステーマ」を踊ると、観客は総立ちになりハンカチを振って盛り上がる場面もあり、熱い一日になりました。



菊川高

未来学講座で  
赤ちゃんと交流

菊川市とのフレンドシップ協定による未来学講座で保育をテーマにした活動が8月に行われました。今年度は24名の生徒が参加し、菊川児童館において妊婦体験や0歳児との交流、アンパンマン体操の披露をするなど、貴重な体験をすることができました。赤ちゃんと12月にも再会する予定が組まれており、参加した生徒たちは赤ちゃんの成長した姿を見られることを楽しみにしています。



橘中・高

オーケストラの  
指揮に挑戦

今年度の芸術鑑賞会は「音楽鑑賞」ということで、シユテルネフィルハーモニー管弦楽団をお招きし、普段触れることのないオーケストラの演奏を味わいました。途中には生徒が参加する企画もあり、吹奏楽専攻の生徒2人がオーケストラの指揮に挑戦しました。誰もが知っている有名な曲の演奏や、生徒の指揮など、楽しみながら音楽鑑賞のマナーを学ぶことのできる鑑賞会となりました。



常葉中・高

大舞台で日頃の練習成果を発表

9月13日(水)静岡市民文化会館中ホールにて、芸術祭が行われました。出演した生徒達は夏休み返上で練習に励み、スポットライトの中堂々とステージに立ちました。客席からは声援が飛び、多くの先生方も登場し、大変な盛り上がりとなりました。



常葉高

常葉の発展を  
一票に託して

9月20日、高等学校後期生徒会を決めるための立会演説会と投票が行われました。演説者は緊張する中より高きを目指していき、熱意を込めて演説し、生徒たちはそれを聞いて真剣に考え、投票を行いました。常葉高校のさらなる発展を予感させる大切な時間となりました。



菊川中

学年の枠をはずし  
心を繋ぐ



9月27日(土)29日、名古屋市野外学習センターで全校交流会を行いました。初日のウォークラリー、2日目の出し物の発表では、3年生がリードする中、班員が協力して取り組む姿が見られました。野外炊飯は、かまどの煙に悪戦苦闘しながら時には小雨の降る中、カレー、焼きそばを役割分担して作りました。夜には、ここ数年、悪天候により実施できなかった、1・3部、マイムマイムのダンスや猛獣狩りやゲームなどで盛り上がった第2部と心に残るものとなりました。学年の枠を超え、親睦を深め合うことができた3日間でした。

橘中

初の全校交流会！

初めてのこの連続でしたが、3年生がリーダーシップを発揮し、2年生、1年生と協力している姿が目立ちました。1日目は新割りと間伐の勤労体験をおこない、その後にはウォークラリーで班ごとに交流を深めました。夜にはキャンドルファイヤーで普段の生活とは違う厳粛で静かな雰囲気を感じました。2日目には棟ごとに力を合せてカレーを作り、笑顔にあふれた2日間になりました。



全員のキャンドル点灯



力を合わせた薪づくり

橘小

よく遊び  
よく学んだ  
夏のASクラブ

昨年度に引き続き今年度も夏休みのASクラブ(after school club)を開設しました。活動内容も豊富にあり、今年度は、NPO法人ふじのくにハーモニーの皆様をお招きしたわらべ歌やお手玉などの日本の伝統的な遊びの体験や、静岡東高等学校のマンドリン部をお招きしての演奏会、秋葉山公園への遠足など、様々な行事を行いました。子どもたちはどの行事にも目を輝かせながら意欲的に取り組んでいました。異学年の友だちもたくさんでき、とても充実した夏休みを過ごすことができました。





London ビッグベン

### 英語英文科最後の海外短期留学2017

常葉大短大部

英語英文科では、英語のスキルアップと異文化への視野を広げる為、約3週間の海外研修を行っています。今回は8月16日(水)~9月4日(月)までイギリスに滞在しました。参加者20名の学生は、ロンドン、ストラトフォード=アポン=エイヴォンの観光後、ヨークに移り2週間ホームステイをしながら語学学校に通いました。英語英文科の募集が来年度より停止となる為、今回が最後の研修となりましたが、学生達にはこの経験を今後の生活に生かして貰いたいと思います



### オーストラリア英語体験研修

橘小

7月29日から8月6日までの9日間、19名の児童がオーストラリアのゴールドコーストへ英語体験研修にでかけました。5、6年生は、週3時間の英語の授業があり、加えて半年前から月1回の「オーストラリアクラブ」を通して、準備を進めてきました。今年は昨年度姉妹校提携をしたEmmanuel Anglican Collegeに滞在する児童と、Imagine Educationという英会話学校に通いホームステイをする児童と二手に分かれて活動しました。姉妹校は、小1から高3までどの生徒も日本語の授業があり、大変親日的な学校です。パティの授業に参加したり、昼休みは一緒にグラウンドで走り回って遊びながら交流を深めました。英語でコミュニケーションを図ろうとする場面がたくさん見られ、今回の経験が次への成長につながるものと確信しました。

### オーストラリア・ホバートへの学生派遣

常葉高

GSコース1年海野菜那花さんは7月25日から10日間、焼津・ホバート友好協会の短期学生派遣プログラムに参加しました。訪れた学校では、現地の学生が日本人以上に日本語を深く理解しようとする姿に強い衝撃を受けました。また、ホストファミリーだけでなく町中の方々が家族のように接してくださいました。これからもこの友好を続けていきたいと感じました。



### 英語力と集中力をフル活用した2日間

常葉中



7月21、22日の2日間、中学1年生を対象に外国人講師4名を招きイングリッシュサマースクールが行われました。1日目は自己紹介から始まり、アクティビティを通して、全ての活動を英語で行うことに慣れていきました。困った時は、ジェスチャーで表現し、時には辞書を使って、伝えたい気持ちを一生懸命表現する姿が見られました。4人の先生方はそれぞれ、アメリカ、イギリス、ニュージーランド、カナダ出身で、生徒たちは4つの国の文化の違いも学ぶことができました。2日目は、自分の宝物を持って、「My Treasure」のプレゼンテーションに挑戦しました。先生方から、発音や発表の仕方など、細かなアドバイスをいただき、全員が堂々と発表できました。英語に親しみつつもじっくりと向き合う、自らの英語力と集中力をフル活用した2日間でした。

## がんばる卒業生

菊川高校 平成24年度卒業  
小杉 涼花 さん  
k-mix アナウンサー



今 回紹介するのは、k-mixのアナウンサー、小杉涼花(こすぎすずか)さんです。

小杉さんは高校卒業後、慶應義塾大学に学び、今年の4月、k-mixに入社されました。

現在、「はなうたサタデー」「うご☆ラジ」の2つの番組をメインに、ニュース、交通情報、お天気情報などにも活躍されています。「うご☆ラジ」とは火曜日と木曜日に県内のホットスポットに行き現場から1日2本、約5分間の生中継をする番組です。今まで行かれた場所は大河ドラマ館、海中水族館、クルマの修理屋さん、ディーラー、動物園、介護施設、住宅メーカーと枚挙に暇がないほどで、食レポもおやりになるそうです。仕事のやりがいは何よりもリスナーさんからのメッセージや反応をダイレクトに感じられるところだということです。中継中にリスナーさんから訪問中の電話が鳴ることもあるそうです。

大変なところは、ニュースや交通情報などは秒単位で話すことが変わることや、CMを読むときにちょっとした表現で印象が変わり、本当に感情を込めないと伝わらないということだそうです。

### 小杉さんから後輩たちに贈るメッセージ

「学生時代は興味を持ったことに全力で突き進んで欲しい。それが役立つときがある。それに合った仕事必ずある。認めてくれる人が現れる。」

橘高

パワー全開!!  
高校体育祭

9月20日、草薙陸上競技場で、高校体育祭が実施されました。昨年は予備日まで雨にたたられ、実施できなかった分、今年は一層パワーフルに体育祭を楽しみました。運動部員は自慢の健脚を見せつけ、長縄跳びでチームワークの良さを発揮するクラスもあり、見所満載の体育祭でした。部活紹介リレーでは、各部がユニフォームで疾走！放送部は実況しながらのリレー、と、これまた楽しい企画でした。



クラスマッチで  
チーム力アップ!!

1学期期末テスト明けの7月7日、草薙総合運動場のこのはなアリーナなどで球技大会が開催されました。体育の授業での練習の成果を発揮すべく、チーム一丸となって白熱した試合を繰り広げました。3年生のチームの中には、尚志祭のときに作ったクラスTシャツを着て出場したチームもあり、スポーツが得意な生徒も、そうでない生徒も、それぞれが真剣に、楽しく試合に臨みました。



常葉高  
中・高

暑さに負けない!!  
熱戦を繰り広げた  
球技大会

期末テストが終わり、1学期最後のイベントである球技大会が行われました。チームメンバー全員で力を合わせ、暑い気候に負けないほどの熱戦を繰り広げました。初めての球技大会だった1年生は先輩相手に健闘し、上級生はこの1年で技術とチームワークに磨きをかけ、実力以上の力を発揮していました。常葉生全員が持てる力を爆発させた1日でした。



体育祭で全校生徒の  
元気あふれる

9月21日、今年も天候にも恵まれ、青空の下で中学・高校の全校生徒が元気よく体育祭を行いました。放送部のユーモアまじりの実況も冴え、長縄跳びや綱引きでは団結力を発揮し、リクレーションの種目では競技を楽しみ、リレーではクラシックスのため集団のために歯をくいしばって走り、それを応援する黄色い声も楽しげながら真剣です。職員対抗コーラ早飲み競争も盛り上がり、全生徒が心から楽しんだ、大変に熱い一日となりました。

菊川中・高

1〜5年生  
自主性と主体性を  
育んだ野外活動

初夏の風に肌も汗はむ頃、1〜5年生は野外活動を行いました。それぞれの学年が、目標に向かって一杯取り組みました。  
1、2年生は和田島自然の家に行きました。冷たく透き通った川には魚が泳ぐ姿も見え、川遊びをとおして自然の素晴らしさを実感しました。

3年生は、桃沢野外活動センターへ。ウォークラリーでは胸を躍らせながら、霧の中の林道を歩き進みました。橋を越え道が開けると、そこは小川がせせらぎ、雨の雫が落ちる音が響き渡るなんとも幻想的な空間でした。まるで自然と一体になったかのような心地よい気分でした。

4年生は、焼津青少年の家に行きました。海洋活動の力又一体験では、小川港内で声をそろえて一所懸命こぎ進みました。この経験を通して協力することの大切さと、共に力を合わせてがんばる友だちがいることの尊さを学びました。

5年生は井川少年自然の家に行きました。伐採した木の根を掘り起こす「抜根作業」では、班の仲間と力を合わせて掘り進め、直径20cmもある木の根を掘り起こすことができました。森作りに貢献する活動はとて新鮮なものでした。森は人間の手で守っていかねばいけないということを学びました。

どの学年も実りある充実した時間を過ごすことが出来ました。この野外活動での経験を活かし、これから先の学校生活でも学年で力を合わせて取り組んでいきます。

橘小



5年生



4年生



3年生



2年生



1年生

# 第40回 父親・母親研修ゼミ



山崎 正 教授による講義を聴く

第40回 父親・母親研修ゼミが、8月6日(日)常葉大学静岡キャンパス瀬名校舎と研修センターを会場に開催されました。今年のテーマは『続続・からだ』と『こころ』の処方箋。会場には幼稚園から大学までの保護者と教職員合わせて10名余りが参加しました。

講義1は、常葉大学教育学部の山崎正教授による「昔の環境と心の発育」。子どもたちの健全な成長を育むためには、どんな音や音楽の環境づくりが必要なのか、身近な音や音楽作品を聴きながら実感しました。

講義2では、浜松市出身の作家・鈴木光司さんによる「野人のすずめ」と「人類にとつての善」は？」の2本立ての講演が行われました。リング「やらせん」などの作品イメージとは異なり、『文壇最強の子育てパパ』を自認する鈴木さんのユーモアを交えた子育て論や生き方のヒントなどの話に参加者たちは時折大きくうなずいていました。

講演の様子は、テレビ静岡の長寿番組「テレビ子屋」で11月19日(日)と12月3日(日)朝6時30分からテレビ放映されることになっています。

また、講義の合間には研修センター坐禅堂で坐禅体験が行われました。参加者からは「心を整える貴重な体験ができた」と好評を博しました。



坐禅体験で心を整える

## 常葉リハ病院

### 管理栄養士のお仕事

# 『栄養ケアなくしてリハなし』

当院の管理栄養士の主な仕事は、患者様の栄養管理です。必要な栄養量にて提供された食事の摂取状況や体重の増減の確認、身体計測

血液データ等も含めて総合的に判断し、栄養評価を定期的の実施しています。こうした栄養評価により、それぞれの患者様に合わせた個別の栄養管理を行っていきます。

また、献立を考えることも管理栄養士の仕事のひとつであり、栄養基準に沿って、患者様の嗜好や年齢層、嚥下障害等も考慮して考えます。

リハビリと栄養はともに必要なものであり、最近では「栄養ケアなくしてリハなし」とも言われています。管理栄養士は患者様のリハビリが効率よくでき、回復するための手助けを目指しています。



## 橘中

# 本物から学んだ 最高の4日間

9月25日〜28日の4日間、3年生が広島、大阪、京都へ修学旅行に行ってきました。広島では原爆資料館で展示を見ることができ、被爆者の方の講話をお聞きし、改めて戦争の悲惨さや残酷さを学びました。大阪、京都では東大寺や平等院鳳凰堂、清水寺を訪ね、古くからの日本文化に触れ、新たな発見をしました。最終日には班別のタクシードリブ研修を行い、とても充実した最高の4日間を過ごすことができました。

東大寺にて



平成29年度 学園誌  
『より高きを目指して』  
感想文コンクール

### 最優秀賞(3名)

- (常葉高) 鈴木 稀美
- (橘高) 望月 明澄
- (菊川高) 辻 星

### 優秀賞(6名)

- (常葉中) 住友 菜花
- (常葉高) 仁藤 鈴音
- (橘中) 望月 柚羅
- (橘高) 稲垣 匡哉
- (菊川中) 大石 衣織
- (菊川高) 松浦 香乃

### 入選(18名)

- (常葉中) 高橋 彩名、諏訪 藍加
- (常葉高) 栗田 実香
- (橘中) 稲葉理衣夏、杉村 渚
- (橘高) 白鳥 乃愛
- (菊川中) 増田 結真、伊藤 琴音
- (橘高) 佐久間千晶、十一家 雅
- (菊川中) 荒木 渚、伏見 咲良
- (菊川高) 塚本 怜奈、清水小乃花
- (橘高) 山本 桃花
- (菊川中) 川嶋梨々花、神崎 舞夏
- (菊川高) 安中 美稀



# みんなのためのいっしょな運動会

とこは幼

9月23日に待ちに待った運動会が行われました。日頃から楽しんで、ダンスや競技を保護者の方に見守られながら力いっぱい頑張りました。満3歳児は親子で障害物競走。年少児は海の世界をテーマにエビとカニに变身しました。年中児は忍者になりきり、修行を楽しみました。今年が最後の運動会になる年長児は自分たちが考えた組体操を曲に合わせて披露したり、リレー対決では勝敗が付いた後、悔し涙を見せる子もいたりと気迫溢れる運動会となりました。



スーパーピラミッド



# おじいちゃん・おばあちゃんへのプレゼント!!



年長さんは年少さんのお手伝い♪

敬老の日に祖父母の皆さんにプレゼントが届くようにみんなでポストに投函しました。心を込めて作ったプレゼント、無事に届きますように…☆  
おじいちゃん・おばあちゃん、いつもありがとう!!



お母さんの読み聞かせ



たちはな幼



みんな真剣です!!

# 保育センター



プールおさめをしたよ

顔に水がかかってもへっちゃら。2ヶ月ですっかり水とお友達になりました。



# 毎日元気いっぱいのひよこぐみさん

歩くのが楽しくて仕方ありません。「まてまて遊び」やボールを追いかけるのに夢中です。でも、お部屋に入れば、座って落ち着いて絵本をみる事ができるようになりました。クレヨンやマーカーで気持ちよさそうにお絵描きもします。自由な線にカラフルな色使いで、見ている先生たちも楽しくなります。



常葉美術館秋季特別企画

曾宮一念展 ご案内

常葉美術館開館40周年記念の企画として、「曾宮一念展」が行われています。学生時代の水彩画などの貴重な資料も展示されています。11月26日までの開催です。ぜひ足をお運び下さい。



学校	内訳	学生・生徒・児童・園児						教職員					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	教職員	事務職員	非常勤教員	非常勤職員	合計
常葉大学	法人本部							39			29	68	
常葉大学	国際言語文化専攻	1	0				1					1	
	国際教育専攻	0	0				0					0	
	経営学部	22	13				35	8	1	1	10		
	健康科学部	0	0				0			4	4		
	健康科学研究科	8	6				14				14		
	環境防犯専攻	4	3				7			1	1		
	研究科合計	35	22				57	8	1	6	15		
	教育学部	126	115	110	130		481					481	
	生涯学習学科	87	86	82	90		345	58	22	60	20	160	
	心理教育学科	74	94	83	63		314					314	
外国語学部	142	124	92	107		465	25	9	49		83		
グローバルC学科	78	68	56	73		275					275		
造形学部	75	90	107	101		373	11	6	22	1	40		
法学部	179	169	164	174		686	18	10	22	6	56		
看護学部	90	90	87	83		350	41	9	40	2	92		
静岡理理学療法学科	62	67	53	65		247					247		
経営学部	182	146	136	131		595	22	7	12	4	45		
経営学科(浜松)	189	139	148	132		608	19	8	11	4	42		
小計	371	285	284	263		1,203	41	15	23	8	87		
健康プロフェッショナル学部	74	78	74	83		309					309		
こども健康学科	52	51	64	51		216					216		
心身マネジメント学科	107	126	107	117		457	78	18	48	9	153		
健康鍼灸学科	23	23	25	19		90					90		
健康柔道整復学科	35	24	35	26		120					120		
理学療法学科	46	37	39	53		175	22	5	8	3	38		
作業療法学科	33	36	42	27		138					138		
社会環境学部	122	106	101	107		436	21	8	11	5	45		
社会環境学科	122	106	101	107		436					436		
保育学部	91	80	96	82		349	15	6	19	4	44		
保育学科	91	80	96	82		349					349		
学部合計	1,867	1,749	1,701	1,714		7,031	330	108	302	58	798		
留学生別科	7					7					7		
合計	1,909	1,771	1,701	1,714		7,095	338	109	308	58	813		
常葉大学短期大学部	日本語日本文学科	46	52				98	6	1	13	1	21	
	英語英文科	22	19				41	6	1	13	2	22	
	保育科	192	217				409	19	9	52	2	82	
	音楽科	30	23				53	6	2	39	47		
	小計	290	311				601	37	13	117	5	172	
	国語国文専攻	3	7				10					10	
	保育専攻	6	8				14					14	
	音楽専攻	10	15				25					25	
	小計	19	30				49					49	
	合計	309	341				650	37	13	117	5	172	
常葉中学校	普通科	145	185	213			543	33	4	14	1	52	
	合計	36	33	27			96	11	1	11		23	
合計	181	218	240			639	44	5	25	1	75		
常葉高等学校	英数科	50	44	52			146	52	5	51	5	113	
	普通科	283	222	255			740					740	
小計	313	266	307			886	52	5	51	5	113		
橋川中学校	合計	61	57	46			164	13	1	7	3	24	
	合計	374	323	353			1,050	65	6	58	8	137	
常葉高等学校	普通科	269	279	287			835	55	5	32	1	93	
	美・テ科	37	38	52			127					127	
小計	306	317	339			962	55	5	32	1	93		
橋川中学校	合計	60	61	57			178	12	1	5	1	19	
	合計	366	378	396			1,140	67	6	37	2	112	
橋小学校	合計	59	60	56	49	55	44	323	25	1	16	1	43
	合計	13	55	62	68			198	11	1	5	17	
たちばな幼稚園	11	63	65	75			214	12	1	6		19	
常葉リハビリテーション病院								126			40	166	
総合計	3,222	3,209	2,873	1,906	55	44	11,309	599	307	572	144	1,622	

ここはインフォメーション

常葉大	▶ スポーツフェスタ2017「きみも未来のストライカー」	11/19(日) 13:30~15:00	浜松キャンパス	サッカー部学生による小学生対象のサッカー教室
	▶ 奨学生入試	出願 11/6(月)~11/27(月) 試験 12/10(日)	常葉大学 静岡(瀬名・水落)・浜松・富士キャンパス・浜松駅前会場・沼津会場	
	▶ 一般入試(前期)	出願 12/25(月)~1/12(金) 試験 2/1(木)・2(金)	常葉大学 静岡(瀬名)・浜松・富士キャンパス・浜松駅前会場・沼津会場ほか地方会場	
	▶ センタープラス入試			
	▶ センター試験利用入試(前期)	出願 12/25(月)~1/19(金) 試験(造形実技のみ) 2/1(木)	(造形実技のみ) 静岡キャンパス瀬名校舎	※詳細は入試ガイド・入学試験要項をご確認ください。
	▶ 推薦入試(自己推薦Ⅱ期)	出願 12/25(月)~1/19(金) 試験 2/2(金)	常葉大学 浜松・富士キャンパス	
短大部	▶ 一般入試(後期)	出願 2/13(火)~2/27(火) 試験 3/9(金)	常葉大学 静岡(瀬名)・浜松・富士キャンパス	
	▶ センター試験利用入試(後期)	出願 2/13(火)~2/27(火) 試験(造形実技のみ) 3/9(金)	(造形実技のみ) 静岡キャンパス瀬名校舎	
	▶ 音楽科実技体験レッスン	11/11(土) 14:30~	常葉大学 短期大学部	※音楽科実技体験レッスンは事前予約が必要です。
	▶ 橘香祭	11/11(土) 10:00~ 11/12(日) 10:00~	常葉大学 短期大学部	お楽しみイベントあり
	▶ 学校推薦・社会人入試自己推薦入試Ⅰ期	出願 10/23(月)~11/9(木) 試験 11/18(土)	常葉大学 短期大学部	※詳細は入学試験要項をご確認ください。
	▶ 待生入試	出願 11/6(月)~11/30(木) 試験 12/10(日)	常葉大学 短期大学部	※詳細は入学試験要項をご確認ください。
	▶ 一般・センター試験利用入試(前期)	出願 12/25(月)~1/24(水) 試験 2/2(金)	常葉大学 短期大学部	※詳細は入学試験要項をご確認ください。
	▶ 一般・センター試験利用入試(後期) ※保育科除く	出願 2/13(火)~2/28(水) 試験 3/9(金)	常葉大学 短期大学部	※詳細は入学試験要項をご確認ください。
	▶ 【中学】第2回プレテスト	11/25(土) 9:30~11:30	本校 B棟 1F音楽室	国語、算数、希望者に学校紹介、校内見学、個別相談
	▶ 【中学】第5回学校説明会	12/2(土) 9:30~11:30	本校 B棟 1F音楽室	学校紹介、入学試験説明、受験アドバイス、校内見学、個別相談
常葉中高	▶ 【高校】第3回学校説明会	11/23(木・祝) 9:40~11:30	本校 体育館	学校説明、高3生徒による受験報告・コース紹介、部活発表、個別相談、校内見学
	▶ 【高校】第1回入試説明会	12/9(土) 9:40~11:30	本校 体育館	入試説明、入試教科学習アドバイス、学校説明、校内見学、個別相談
	▶ 【高校】第2回入試説明会	12/18(月) 18:00~19:30	本校 教室	入試説明、学校説明、校内見学、個別相談
	▶ 【中学】入試説明会	11/25(土) 10:00~12:00	本校 音楽・視聴覚室	入試科目(国語・算数)対策授業、入試アドバイス、入試説明
	▶ 【高校】秋の学校説明会③(普通科・英数科)	11/23(木) 10:00~12:00	本校 尚志館	学校見学、説明会
	▶ 【高校】総合芸術コース体験会②(総合芸術コース)	11/23(木) 10:00~12:00	本校 音楽室・美術室	総合芸術コース説明会・体験会
	▶ 【高校】入試説明会①	12/9(土) 10:00~12:00	本校 尚志館	入試説明
	▶ 【高校】入試説明会②	12/16(土) 10:00~12:00	本校 尚志館	入試説明
	▶ 高校入試相談会	11/25(土) 9:00~12:00 12/9(土) 9:00~12:00 12/17(日) 9:00~12:00	本校	時間内ならいつでも結構です
	▶ 高校美術・デザイン科実技講習会Ⅰ	11/11(土) 9:00~12:00	本校	要申込み(ホームページ、FAX、電話など) 持ち物 テッサン鉛筆 ねりゴム
菊川中高	▶ 高校美術・デザイン科実技講習会Ⅱ	12/9(土) 9:00~12:00	本校	要申込み(ホームページ、FAX、電話など) 持ち物 テッサン鉛筆 ねりゴム
	▶ 中学入試相談会	11/25(土) 9:00~12:00	本校	個別相談
	▶ 小学校4・5年対象説明会	2/17(土) 14:00~16:00	本校	学校説明、特色説明
	▶ オーケストラ学習発表会	12/5(火) 13:30開場 14:00開演	清水マリナート	児童が日頃のオーケストラ学習の成果を発表します。
橋小	▶ 後期入学試験	12/16(土) 13:20~	橋小学校	男女若干名募集 出願期間 11月28日~12月1日
	▶ 授業研究会	1/27(土) 8:40~16:30	橋小学校 常葉大学	常葉大学と連携して新しい教育に向けた授業を提案します。